

100%植物由来 & リサイクル素材使用！
油污に強いセルローススポンジたわし
スコッチ・ブライト™ グリーナークリーン セルローススポンジたわし
(ハードな汚れを落とすタイプ／キズつけないタイプ)
2023年9月15日発売

スリーエム ジャパン株式会社（本社：東京都品川区 代表取締役社長：宮崎 裕子）は、ご家庭のトータルクリーニング製品を展開するスコッチ・ブライト™ ブランドのサステナブルなキッチンアイテム「グリーナークリーン」シリーズより、「スコッチ・ブライト™ グリーナークリーン セルローススポンジたわし（ハードな汚れを落とすタイプ／キズつけないタイプ）」を9月15日に発売します。



スコッチ・ブライト™ グリーナークリーン
セルローススポンジたわし
(左) ハードな汚れを落とすタイプ (右) キズつけないタイプ

「スコッチ・ブライト™ グリーナークリーン セルローススポンジたわし」は、サステナブルを考え、100%再生ポリエステル繊維を使用した不織布と、100%植物由来の原料からできたセルローススポンジを貼り合わせた、スポンジたわしです。

不織布部分に研磨粒子がついた「ハードな汚れを落とすタイプ」は、鉄製の鍋やフライパンなどのコゲやこびりつき汚れをスッキリ落とします。研磨粒子なしの「キズつけないタイプ」は、食器やガラスなどの汚れ落としにおすすめです。また、セルローススポンジは油の吸収がよく、かつ油離れもよいため、油污に強く、おすすめしたい製品です。

3Mの調査※によると、消費者が普段おこなっている環境に負荷をかけない活動は、マイバッグ・マイボトルなどの持参（88.7%）、ごみの分別廃棄（84.3%）、節電・節水（71.5%）、公共交通機関の利用（30.1%）に次いで、環境に配慮した消費の購入・利用（29.5%）で、製品購入を通じてサステナビリティに貢献する行動はまだ一般的ではないと考えられます。3Mでは、生活に身近なキッチンスポンジの分野で性能とサステナビリティを両立した本製品を発売し、消費者のサステナビリティに貢献する行動をサポートしていきます。

※N=1700 2023年4月実施

【製品特徴】

- ・不織布部分には 100%再生ポリエステル繊維を使用しています。
- ・スポンジ部分は、パルプ由来の天然繊維素からできたセルローススポンジです。
- ・セルローススポンジは吸水性がよく乾燥も早いことや、油の吸収もよく、かつ油離れがよいことが特徴です。
- ・研磨粒子つきの「ハードな汚れを落とすタイプ」と研磨粒子なしの「キズつけないタイプ」をラインナップしています。
- ・アースカラーでキッチンになじむデザインです。
- ・パッケージは再生紙を使用しています。



【製品仕様】

製品名	内容量	素材	製品サイズ 縦×横×厚さ (mm)	希望 小売価格
スコッチ・ブライト™ グリーナークリーン セルローススポンジたわし ハードな汚れを落とすタイプ GC-HD	1 個	ポリエステル不織布 (研磨粒子つき) セルローススポンジ (植物繊維素)	115×70×18	オープン
スコッチ・ブライト™ グリーナークリーン セルローススポンジたわし キズつけないタイプ GC-NS	1 個	ポリエステル不織布 セルローススポンジ (植物繊維素)	115×70×18	オープン

スコッチ・ブライト™ グリーナークリーンシリーズ

アメリカでは 2014 年から展開している、サステナブルを考えたシリーズです。

洗浄力等の性能はそのままに、今後主流となるサステナブルな製品に求められる特性を両立した製品を提供します。

日本では、ネット部分にトウモロコシ由来のプラスチック素材を使用した PLA ネットスポンジと PLA メッシュネットを既存製品としてラインナップしています。



スコッチ・ブライト™ グリーナークリーン
(左) PLA ネットスポンジ (右) PLA メッシュネット

3M、Scotch-Brite、スコッチ・ブライト、グリーナークリーンは、3M 社の商標です。

プレスリリースに掲載している内容は発表時点の情報です。

最新の情報とは異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

＜製品に関するお客様お問い合わせ先＞

スリーエム ジャパン株式会社

<http://www.scotch-brite.jp>

TEL：0120-510-733 (受付時間 平日 9：00～17：00)

【3M について】

3M(本社：米国ミネソタ州)は、サイエンス（科学）が明るい未来を創造すると信じています。人びと、アイデア、サイエンスの力を解き放つことによりさらなる可能性を模索し、世界中の社員がお客様、地域社会、そして地球の課題を解決するために取り組んでいます。人びとの暮らしを豊かにし、「これから」を創り出すための 3M の活動は www.3M.com または Twitter の [@3M](https://twitter.com/3M)、[@3MNews](https://twitter.com/3MNews) をご覧ください。3M ジャパングループについては www.3mcompany.jp をご覧ください。